

第83期 株主通信

2018年4月1日から2019年3月31日まで



岩手県普代村のわかめ養殖の様子。わかめの苗ともいえる種苗を植えた養殖ロープが、速い潮に流されて大きく湾曲する様子が確認できます。海の幸をいただく企業として、その豊かさに感謝し、これからも産地の人びととともに歩んでいきます。ゆりあげファクトリー（理研食品）では、優良種苗の研究・生産を通じて海藻養殖産業全体のさらなる活性化を目指しています。

Vitamin Report

ごあいさつ



代表取締役会長

保美 博

代表取締役社長

山本 一彦

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

今日の食品業界は、国内市場では健康志向や簡便化志向といったライフスタイルの変化やニーズの多様化への対応、海外の成長エリアに対してはより積極的な取り組みが求められる環境にあります。

現在進行中の中期経営計画では、国内事業は収益基盤のさらなる強化、海外事業は成長エンジンの加速化を基本に新領域に挑戦することで持続的成長と競争力のある企業を目指しており、目標達成に向けて諸施策を着実に遂行してまいり所存です。

さて、当社は2019年8月に創立70周年を迎えます。これもひとえに株主の皆さまをはじめ、関係各位の温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

今後も当社が歴史の中で培ってきた天然資源の有効活用や独自の技術力・提案力といった強みを最大限に活かし、社会のニーズに新しい価値で応える企業を目指してまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

株主の皆さまへ

～現中期経営計画の基本コンセプト～

(2018年4月から2021年3月までの3年間を対象)

- ◇成熟市場にある国内事業では収益基盤のさらなる強化
 - ◇拡大市場にある海外事業では構造基盤の強化による成長エンジンの加速化
 - ◇独自の技術力・開発力に磨きをかけ、新領域に挑戦
 - ◇CSR経営の推進
- を基本に据え、持続的成長が可能な競争力のある企業を目指す。

当期の概況

当社グループの連結業績は、売上高については898億88百万円(前期比0.4%増)と前期を上回る実績を確保しました。



一方、営業利益は50億52百万円(同19.3%減)、経常利益は48億60百万円(同10.4%減)、また親会社株主に帰属する当期純利益は39億49百万円(同30.0%減)となりました。

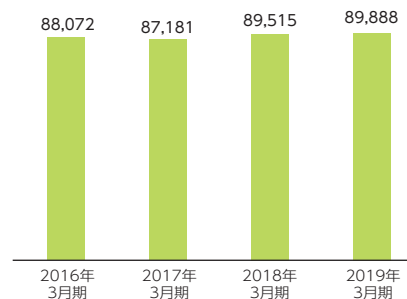
「国内食品事業」において、「家庭用食品」では主力のドレッシングの不振が大きく、前期を下回る結果となりました。

「業務用食品」についてはエキス調味料の着実な伸長に加え、差別化された新領域の製品である「冷凍海藻」も堅調に推移した他、「加工食品用原料等」では食品用改良剤分野が順調に売上を伸ばしました。

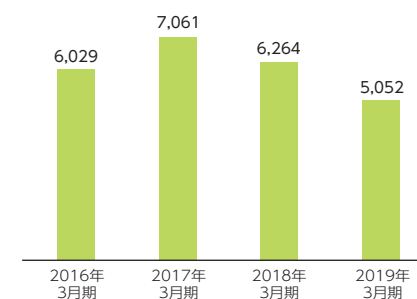
しかしながら事業全体では「家庭用食品」のマイナスをカバーするに至らず、売上、営業利益とも前期を下回りました。

一方「国内化成品その他事業」につきましては、既存分野に加え、化粧品分野への新規用途提案等により売上が

▶ 売上高 (単位:百万円)



▶ 営業利益 (単位:百万円)



伸長しましたが、営業利益については原材料価格の上昇等により前期実績に届きませんでした。

「海外改良剤」分野においては、ソリューションビジネスの提案機能を担うアプリケーションセンターと各国販売拠点の連携を強化し、前期を上回る売上を確保した他、原材料価格の上昇に対応した販売価格の引き上げや高付加価値製剤の拡販を行った結果、営業利益は前期を上回りました。

事業モデル転換中の「青島福生食品有限公司(中国)」につきましては、売上は前期実績を上回ったものの営業損益は構造改革の遅れに加え、売掛金の回収状況等を踏まえて貸倒引当金を計上したことにより営業損失となりました。

この結果「海外事業」全体の売上は前期を上回ったものの営業損益は赤字を計上しました。

今後の見通し

日本国内市場においては雇用情勢の回復基調を受けて、個人消費も徐々に持ち直しておりますが、消費増税、原材料価格や物流費といったコストの上昇等の懸念材料に加え、海外経済は中国経済の減速や欧州の政局不安、米国の政策運営の動向により、先行きに予断を許さない状況が続くことが予想されます。

この様な環境下、当社グループは「中期経営計画」の2年目の取り組みを推進してまいります。

次期の見通しにつきましては売上高940億円(前期比4.6%増)、営業利益68億円(同34.6%増)、経常利益64億円(同31.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益については46億円(同16.5%増)を見込んでおります。

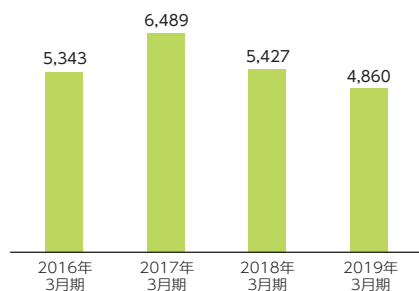
当社の目指す事業戦略

当社のコア事業である「食品」「改良剤」「ヘルスケア」の3分野の収益体質の強化をさらに進める一方、各事業の連携を強化してまいります。

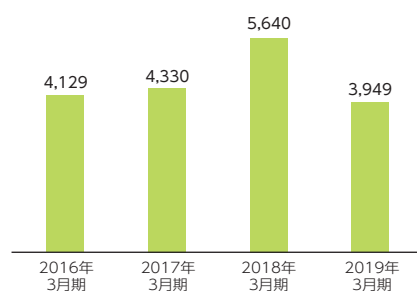
それらに加え独自の技術力・開発力に磨きをかけ、「新領域への挑戦」に取り組むことで、存在感のある企業になれるようグループ一丸となって事業を推進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

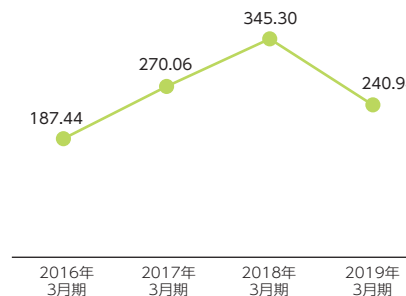
▶ 経常利益 (単位:百万円)



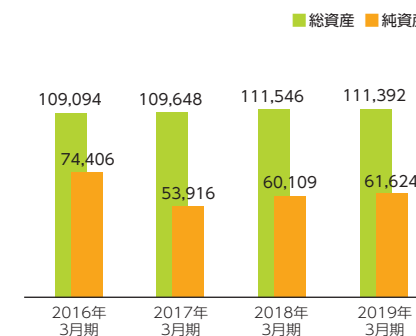
▶ 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



▶ 1株当たり当期純利益 (単位:円)

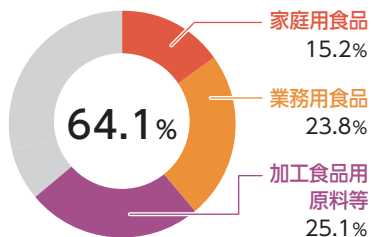


▶ 総資産／純資産 (単位:百万円)



国内食品事業

▶ 売上高構成比



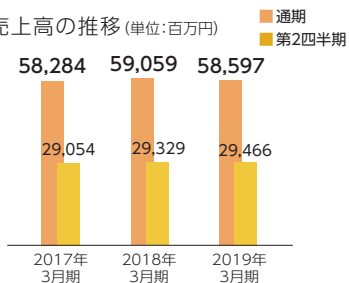
▶ 売上高

585億97百万円
前期比△0.8%

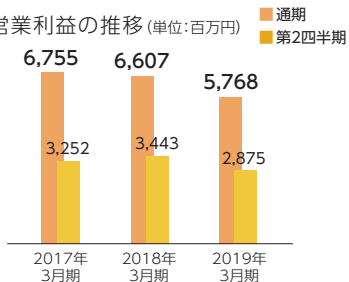
▶ 営業利益

57億68百万円
前期比△12.7%

▶ 売上高の推移 (単位:百万円)



▶ 営業利益の推移 (単位:百万円)



事業内容

● 家庭用食品

ドレッシング(リケン[®]のノンオイル、リケン サラダデュオ[®])、海藻製品(ふえるわかめちゃん[®]、わかめスープ)、和風調味料(素材力だし[®])、レトルト食品等を一般ご家庭向けに提供しています。

● 業務用食品

学校給食や外食産業にドレッシング、海藻製品、和風・洋風・中華風の調味料やスープ、米飯調味料といった加工食品を提供、また、コンビニ等の中食市場にも、各種調味料等を提案しています。

● 加工食品用原料等

国内加工食品メーカー向けに食品用改良剤・色素・ビタミン等を、また、医薬品・健康食品メーカー向けにはビタミンをはじめとする各種ヘルスケア素材等を、それぞれ幅広く提案しています。



当期の概況

国内食品事業の売上は、「業務用食品」「加工食品用原料等」が前期を上回りましたが、「家庭用食品」が前期に大きく届かず、事業全体では前期を下回る結果となりました。

「家庭用食品」では、昨年2月に大幅リニューアルした「リケン[®]のノンオイルセレクトィ[®]」の市場浸透が進まず、また、需要期である夏場の天候不順や自然災害の影響による野菜価格の高騰等が影響し、ドレッシング全体でも前期を下回りました。乾燥わかめ「ふえるわかめちゃん[®]」は堅調に推移しました。

「業務用食品」では、乾燥わかめやドレッシングが減少したものの、エキス調味料や冷凍海藻が伸長しました。

「加工食品用原料等」では、顧客ニーズに的確に応えたソリューションビジネスの展開により、食品用改良剤やビタミンが着実な伸びを示しました。

営業利益は、高付加価値商品の提案、販売促進費の適切な運用等の政策を推進しましたが、「家庭用食品」のドレッシングの販売不振に加え、原材料の価格上昇、減価償却費やエネルギー費等の製造経費の増加により、前期を下回りました。

業務用 冷凍海藻新商品のご紹介

わかめの世界を変える 三陸産わかめ唐揚げ

揚げるだけで簡単に提供可能な、味付け済みのわかめ唐揚げです。



わかめ唐揚げ サクサク感とほどよい味付けがくせになる

そのまま手軽に 三陸産 とろとろ艶わかめ

わかめのシャキシャキ感を残しつつ、とろとろした粘性があるわかめです。



海鮮丼 丼物、汁物、和え物、麺類等、色々なメニューで使えます

そのまま手軽に 国内産 わかめペースト

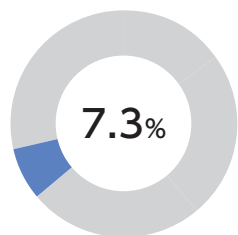
わかめを細かくカットしたペースト状のわかめです。噛むことが難しい方でもわかめのおいしさを味わえます。



鶏団子スープ 学校給食にも！取り入れやすいペーストタイプ

国内化成品その他事業

▶ 売上高構成比



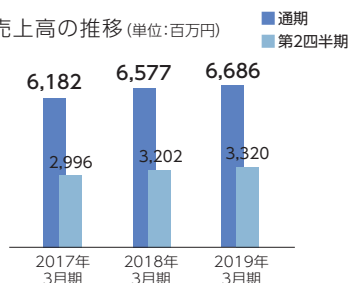
▶ 売上高

66億86百万円
前期比**1.7%**

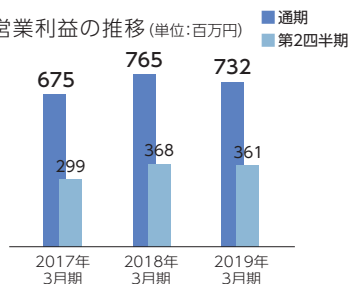
▶ 営業利益

7億32百万円
前期比**△4.3%**

▶ 売上高の推移 (単位:百万円)



▶ 営業利益の推移 (単位:百万円)



事業内容

プラスチック、ゴム、化粧品、農業用フィルム、食品用包材といった国内化成品メーカー向けに、機能性付加や加工性向上に効果的な改良剤を提供しています。その他事業としては飼料用油脂等を販売しています。

当期の概況

「化成品(改良剤)」は、既存の帯電防止用製品や防曇用製品が堅調に推移したことに加え、化粧品分野で独自技術を活かした提案による新たな実績を獲得したことから、売上が前期を上回りました。

また、「その他」の事業では、飼料用油脂の売上が前期実績を下回りました。

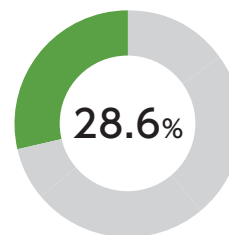
事業全体では売上高は増加しましたが、販売品目構成の変化や原材料価格の上昇等により、営業利益は前期を下回りました。



農業用ハウスフィルム

海外事業

▶ 売上高構成比



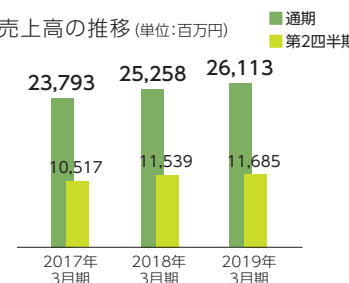
▶ 売上高

261億13百万円
前期比**3.4%**

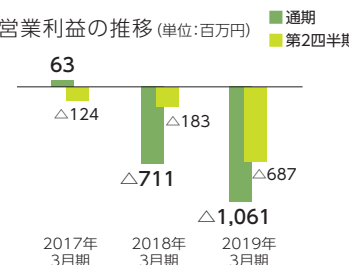
▶ 営業利益

△10億61百万円
前期比**－%**

▶ 売上高の推移 (単位:百万円)



▶ 営業利益の推移 (単位:百万円)



事業内容

「改良剤」分野は食品用改良剤、化成品用改良剤を海外拠点で生産・販売しています。販売先は中国・東南アジアをはじめ、欧州・米国等、世界の数十カ国にわたっています。「青島福生食品有限公司(中国)」は水産加工品、野菜等を欧州・米国や中国国内に向けて販売しています。

当期の概況

「改良剤」分野は、世界各地の販売会社と情報発信基地であるアプリケーションセンターとの連携により既存市場の深耕と新市場の開拓を行った結果、売上は前期を上回りました。営業利益は、原材料価格の上昇を受けて販売価格の引き上げを実施するとともに高付加価値品の拡販等の施策を推進したことにより、前期を上回りました。

一方、「青島福生食品有限公司(中国)」においては、水産加工品等の販売により売上は前期を上回りましたが、取り組んでいる構造改革の遅れと売掛金の回収状況などを踏まえた貸倒引当金の計上により、営業利益を確保することができませんでした。

このため、事業全体では売上高は前期を上回りましたが、営業損失を計上する結果となりました。

※上記の各事業の数値には、セグメント間の内部売上高を含めています。構成比は調整前の数値です。

特集

食品事業紹介 取締役インタビュー



仲野取締役に
聞きました！

当社食品事業にはさまざまなカテゴリーがありますが、今回は、「わかめの産地判別検査」「ゆりあげファクトリー」等で話題の海藻事業を中心にお話しいただき、最後に食品事業全体について伺いました。

仲野隆久(なかの たかひさ) / 1985年入社、2004年ヘルスケア部長を経て、2012年に取締役就任。現在、食品(家庭用・業務用)事業部門(販売・開発)、事業戦略部門、ヘルスケア事業部門担当。

Q1. 海藻事業について教えてください。

1965年、日本のわかめ養殖産業の本格的なスタートとともに、「生わかめ わかめちゃん®」として加工・販売を手がけたことが当社海藻事業の始まりです。お客さまからの要望で、簡単に使えて保存性に優れるカール状乾燥わかめを開発し、皆さまにおなじみの「ふえるわかめちゃん®」が誕生しました。また、当時はわかめといえばみそ汁が定番でしたが、当社はわかめスープや海藻サラダ等のレシピも提案しました。これらのメニューは今では当たり前となりましたが、その当時は新しい食シーンでした。

現在は、昔から得意としているレシピ提案に加え、安全・安心への取り組みの強化や、海藻に関する研究成果の発信等、海藻の魅力さをさらに高める活動を「ときめき海藻屋」というブランドを通じて展開しています。当社といえばわかめのイメージが強いかもしれませんが、海藻全体への取り組みを強化し、「わかめのリケン」から「海藻のリケン」を目指してまいります。



当時販売した
「生わかめ わかめちゃん®」

Q2. ときめき海藻屋では、具体的

さまざまな取り組みを行っておりますが、最近では「わかめの産地判別検査」や「ゆりあげファクトリー」にメディアからの反響をいただきましたので、ご紹介いたします。

まず、[わかめの産地判別検査](#)について。当社では2019年2月から科学的な産地判別検査を導入し、品質保証体制をさらに強化いたしました。お客さまにより確かな品質をお届けするため、今後も検査の精度向上を目指してまいります。

次に、[ゆりあげファクトリー](#)について。こちらはわかめの加工と、わかめの苗ともいえる種苗(しゅびょう)の研究・生産を行う拠点です。海藻養殖業の労働負荷低減に向け、わかめの優良品種選抜とわかめ養殖業の方への種苗供給を行い、わかめの収量アップや将来的には二期作の実現化を目指す取り組みを行っております。当社はおいしい海藻をこの先もずっと皆さまに届けていくため、海藻養殖産業の活性化へ積極的な取り組みを進めてまいります。

ときめき海藻屋の活動方針

海藻をときめかせたい。人々を海藻でときめかせたい。



- 1 安全・安心はときめきの基本**
食品の安全とそこから生まれる安心は暮らしの基本です。
- 2 海と海藻のときめく研究**
リケン独自の視点によるサイエンスとテクノロジーを取り入れた研究開発です。
- 3 海藻のときめく魅力を発信**
これまでにない海藻の力、楽しみ方を未来へ向けて発信していきます。
- 4 お客様や産地をときめかせたい**
食育活動や産地協業等を通じて人々とのつながりを盛り上げていきます。

▶食育活動については9ページもご覧ください。

にどんな活動をしているのですか。

当社わかめの産地判別検査

従来のトレーサビリティシステムで確認された産地について、科学的に確認する「微量元素組成分析」の検査を加えました。この両方に合格した印として、[産地判別検査合格マーク](#)の使用を開始しております。

トレーサビリティシステム

生育・加工・流通の履歴を追跡

+

微量元素組成分析

科学的根拠に基づいた検査

産地判別検査合格



産地判別検査合格マーク付与



詳しい情報はこちら

<https://www.rikenvitamin.jp/corporate/safety/trace/>



ゆりあげファクトリー (理研食品 (株))

2017年に宮城県名取市に設立したゆりあげファクトリーは、閑上(ゆりあげ)地区の復興と地域水産業の活性化を目的とした名取市の水産業共同利用施設復興整備事業のひとつです。

昨年度は、今までわかめ生産をしていなかった閑上地区において名取市と共同で養殖プロジェクトに参加し、試験栽培を行いました。



Q3. 食品事業全体についてのお考えをお聞かせください。

当社は創業以来、一貫して「天然物の有効利用」を基本方針に掲げ、研究・商品開発を行ってまいりました。現在、食品事業にはエキス・調味料事業、海藻事業、ドレッシング事業があり、すべてこの流れをくんでいます。

たとえば、天然物の旨味成分を凝縮したエキスを使用した「素材力だし。」や「わかめスープ」等は、原料から最終製品まで自社開発することで、こだわりのおいしさをお届けしています。業務用商品では「食材本来の味を教えたい」という栄養士さんの声に応えた学校給食用「笑顔でランチ。」シリーズの展開のほか、“まるで採れたての食感”を楽しめる「冷凍海藻」シリーズがこれまでにないおいしさとして好評をいただいております。また、ドレッシングの「リケンノンオイル」ではヘルシーなおいしさの追求だけでなく「サラダも料理もコレ一本」というキャッチフレーズのもと、忙しい生活者の皆さまに便利なメニュー提案を行ってまいります。

これからも理化学研究所から受け継いだ自由闊達な社風を活かし、全てのお客さまの「お役に立つ」理研ビタミンを目指していきたいと考えています。

▶ 冷凍海藻については3ページもご覧ください。

特集

リケンのノンオイルシリーズがペット容器になって、 さらに使いやすく、おいしくなりました。

リケンのノンオイル

風味アップ & 軽量ボトルで
リニューアル!!

1989年(平成元年)に発売したリケンのノンオイルドレッシング青じそは、一つの時代を駆け抜け、今なお多くのお客さまにご愛顧いただいております。

発売から30周年の本年は、容量はそのままに、ボトル容器をビンからペットボトルへ変更し約140g軽量化をしました。キャップも中栓が一度で開けられる「楽チンキャップ」を採用。中身は素材本来の味わいと、ノンオイルならではの汎用性を進化させています。これからも、おいしさと便利さをお客さまへお届けしてまいります。

～おなじみの大葉デザインの遍歴～

1989



2007



2017



2019

楽チンキャップ



- 中栓を開ける手間いらず
- 液だれしにくい注ぎ口

約140gの
軽量化

- 軽くてお買い物に便利



天才調味料とは？

サラダも料理もコレ1本!

“リケンのノンオイル”は、サラダにかけるだけでなく、
いろんな料理につかえることを知っていますか？
冷やっこにかけたり、餃子のつけダレにするなんて当たりまえ。
炒め物や煮物の味つけにだって使っちゃいます。
はやくて簡単！しかも、1本で味がピシッと決まる！
ドレッシングを超えた天才調味料の実力を、お試しください。

CMレシピ

豚バラでも、
豚コマでもおいしい！
うま塩豚チャーハン



ツナと和えるだけ！
青じそツナパスタ



TVCM
放送中!

天才調味料 <http://riken-tensai.jp/>

天才調味料HPでは、放送中のTVCMのほか、
メイキング動画も公開中です。出演：村上信五





通信販売がさらに便利に！ 選べる商品の幅が広がります

食品と健康食品のショッピングサイトが一体化

食品通販(旧通販センター)と健康食品通販(サポートプラス)を一体化した「リケンダイレクト」が5月からオープンしました。食品と健康食品をまとめてお届けすることが可能になり※、選べる商品の幅が広がりました。

※冷凍商品は配送便が異なるため、常温商品と一緒にお届けできません。



✓ 使いやすくなったポイント

- 商品検索機能の向上**
ジャンル毎に見やすいページデザインで、商品検索が楽々です。
- マイページ機能が充実**
発送日時のご確認、お届け日時の変更が可能になりました。商品に関するお問い合わせもWebで簡単に行えます。
- スマートフォン対応**
スマートフォン、タブレットにも対応。場所を選ばずお買い物いただけます。

今後は料理動画やレシピ紹介などのコンテンツを充実させて、通販商品の魅力をお伝えしてまいります。Webサイト限定のキャンペーンにもご注目ください。

リケンダイレクト

<https://www.riken-direct.jp/shop/>



通販商品のご案内

冷凍海藻 三陸普代産 幼葉わかめ

岩手県普代村で収穫された希少な幼葉わかめです。独自製法で採れたてのシャキシャキした食感を楽しめます。



料理動画公開中

さっと湯がいていただく「わかめしゃぶしゃぶ」



リケンサポートプラス シリーズ

当社は天然由来の健康成分に着目した商品も展開しています。「わかめペプチド粒タイプ」では、わかめ由来の健康成分を手軽に摂取できます。



機能性表示食品

わかめペプチドには高めの血圧を下げる機能があることが報告されています。

業務用ドレッシング

通販では「青じそクリーミー」「韓国ナムル」等、業務用ならではの幅広いラインナップからお選びいただけます。さらに、大容量タイプのドレッシングも購入いただけます。



理研ビタミングループのCSR ～より社会に必要とされる企業になるために～

「健康経営優良法人ホワイト500」に認定 ～経営理念の実現に向けて～



本認定制度は、経済産業省と日本健康会議が共同で、特に優れた健康経営を実践している法人を顕彰するものです。

当社では、健康経営を積極的に推進するため2018年10月に「理研ビタミン健康宣言」を制定いたしました。この取り組みが評価され、「健康経営優良法人ホワイト500」に認定されました。

健康経営を通じて生産性と企業価値の向上を目指し、お客さまの健康によりいっそう貢献できるよう進めてまいります。

－理研ビタミン健康宣言－

わたしたちの経営理念では、「社会に対し、食を通じて健康と豊かな食生活を提供する」と謳っています。この実現のためには、“従業員とその家族が健康であること”が不可欠と考え、健康経営の推進をします。

わたしたちは、従業員とその家族が心身ともにすこやかであるよう努力し、いきいきとした自由闊達な職場風土を通して、この経営理念の実現を目指します。

健康経営の8つのテーマ

1 健康診断100%受診

2 健康診断結果の活用

3 健康づくり環境の整備

4 「食」への取り組み

5 「運動」への取り組み

6 「禁煙」への取り組み

7 「心の健康」への取り組み

8 病気の治療と仕事の両立支援

わかめで健康!

わかめの健康機能周知・わかめメニューのランチ提供など、当社らしい健康経営にも取り組んでいます。



「ふえるわかめちゃん®」を製造する理研食品(株)が 平成30年度「みやぎ食育大賞」を受賞

本表彰は、食育活動に積極的に取り組み、県民の健康増進、みやぎの食文化の伝承などの分野において功績を挙げた方々を、宮城県が表彰するものです。

当社グループでは、日本の伝統食材のひとつである「わかめ」を通して、子供たちの健康や食の知識を豊かにする「わかめ学習出前授業」を実施しております。特に理研食品(株)では、わかめ製品のメーカーとして宮城県多賀城市を中心にさまざまな食育支援活動を継続的に実施しており、これらの取り組みが評価されました。



食育支援活動の一例

●わかめ学習出前授業



宮城県の小学校で「わかめパワーのひみつについて探ろう!」というテーマの授業を行いました。

●サイエンスデー in 多賀城



地元の多賀城工場地帯連絡協議会のイベントに参加しました。

●親子クッキング

●多賀城市減災技術見学会

●多賀城市食育展

●海の食育講座

●小中学生や先生方を対象とした工場見学

■ 会社概要 (2019年3月31日現在)

商号	理研ビタミン株式会社
設立日	1949年8月27日
本社所在地	〒101-8370 東京都千代田区神田三崎町2-9-18
TEL(代表)	03-5275-5111
ホームページアドレス	https://www.rikenvitamin.jp/
資本金	2,537百万円
事業内容	家庭用食品、業務用食品、加工食品用原料、 食品用改良剤、化成品用改良剤、 ビタミン類等の製造・販売
従業員数	945名(連結2,285名)

取締役 (2019年6月25日現在)

代表取締役会長	堺 美保
代表取締役社長	山木 一彦
代表取締役専務	伊東 信平
常務取締役	大澤 寛
常務取締役	佐藤 和弘
取締役	仲野 隆久
取締役	指田 和幸
取締役 常勤監査等委員	属 博史
社外取締役 常勤監査等委員	藤永 敏
社外取締役 監査等委員	北原 弘也
社外取締役 監査等委員	竹俣 耕一
社外取締役 監査等委員	末吉 永久

常務執行役員 (2019年6月25日現在)

常務執行役員	道津 信夫
常務執行役員	望月 敦

執行役員 (2019年7月1日予定)

執行役員	有賀 朗
執行役員	藤田 満
執行役員	黒澤 道夫
執行役員	加藤 栄一
執行役員	中村 一知
執行役員	村上 斎
執行役員	栗原 浩
執行役員	渡辺 毅彦
執行役員	小山 真一
執行役員	菊池 英知
執行役員	牧之段 武彦
執行役員	青木 巧

2019年6月から、会社の業務執行を適切に委譲することにより、取締役会の機能を経営上の重要事項の決定と監督に集中するため、委任型の執行役員である常務執行役員を設置いたしました。

■ 株式の状況 (2019年3月31日現在)

	大株主(上位10名)	持株数(千株)	持株比率(%)
●発行可能株式総数			
90,000,000株	理研ビタミン取引先持株会	1,444	8.75
●発行済株式の総数			
20,352,550株	キッコーマン株式会社	993	6.02
●株主数			
8,211名	株式会社みずほ銀行	866	5.25
	三菱UFJ信託銀行株式会社	600	3.64
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (ミヨシ油脂株式会社退職給付信託口)	540	3.27
	株式会社三菱UFJ銀行	527	3.19
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	461	2.79
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	385	2.33
	住友生命保険相互会社	363	2.20
	永持 景子	343	2.08

(*1) 当社は、自己株式3,853千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

(*2) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL:0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL: https://www.rikenvitamin.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

お知らせ

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待のお知らせ

株主さまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社の事業内容をより一層ご理解いただくため、株主優待制度として当社製品を贈呈しております。

対象株主さま

毎年3月末および9月末現在の
株主名簿に記載された100株以上を
保有している株主さま

優待内容

それぞれの基準日現在の対象株主さまに対し、
保有株式数および保有期間に応じて
下記の基準で当社製品を贈呈いたします。



3,000円相当の製品例

※写真はイメージです
※パッケージは変更になる場合があります

2019年6月のご優待品より、包装資材をリニューアルいたしました。
お届けの箱が小さくなりますが、優待内容については変更ございません。

贈呈予定時期

毎年6月下旬および11月下旬

保有株式数	保有期間3年未満	保有期間3年以上(注)
100株以上～500株未満	1,000円相当	2,000円相当
500株以上～1,000株未満	2,000円相当	3,000円相当
1,000株以上～3,000株未満	3,000円相当	4,000円相当
3,000株以上～	4,000円相当	5,000円相当

(注)「保有期間3年以上」の対象となる株主さまは、毎年3月末および9月末の株主名簿に同一株主番号で7回以上連続して記載された株主さまとなります。

創立70周年記念配当実施のお知らせ

当社は株主の皆さまへの利益還元を経営上の重要課題の一つと考えております。剰余金の配当につきましては当社の経営環境、業績、株主還元性向、経営基盤強化のための内部留保等を総合的に勘案し長期的な視野に立ち、業績に大幅な変動がない限り、原則として、前期の1株当たりの配当金額と同水準の安定的な配当を実施していくことを基本方針としています。

おかげさまで当社は本年8月をもちまして創立70周年を迎えます。つきましては株主の皆さまへの長年にわたるご支援に感謝の意を表するため、2019年3月期の期末配当について、普通配当に加え1株につき5円の記念配当を実施させていただくことといたしました。この結果、2019年3月期の期末配当金は普通配当金38円に記念配当5円を加えた43円とし、2019年6月5日よりお支払を開始しております。この期末配当を実施しました結果、中間配当を含めました年間配当は1株につき、81円となりました。

なお、2020年3月期につきましても業績の大幅な変動がない限り、当期と同額の1株当たり年間配当金81円をお支払いする予定です。

1株当たりの配当金(単位:円)

